

水質総量規制の実施状況等について(資料編)

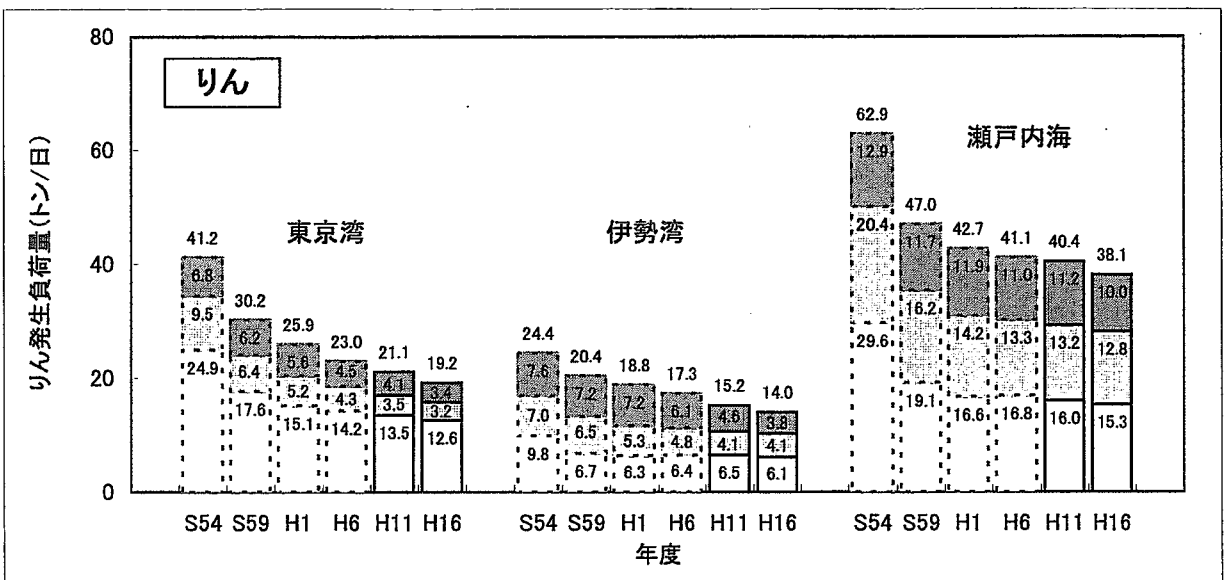
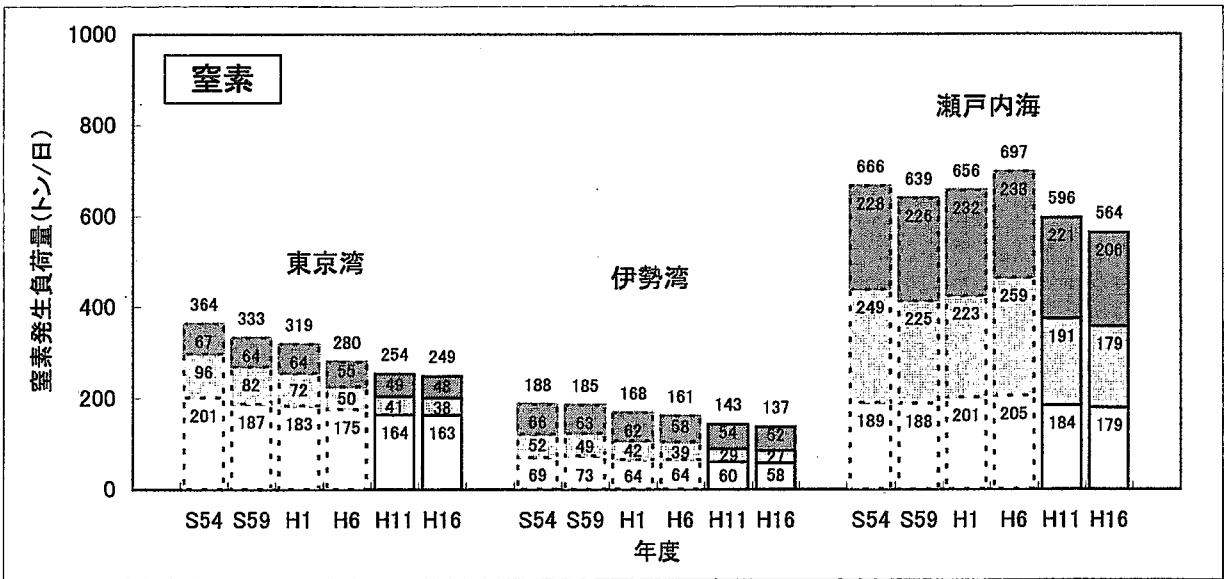
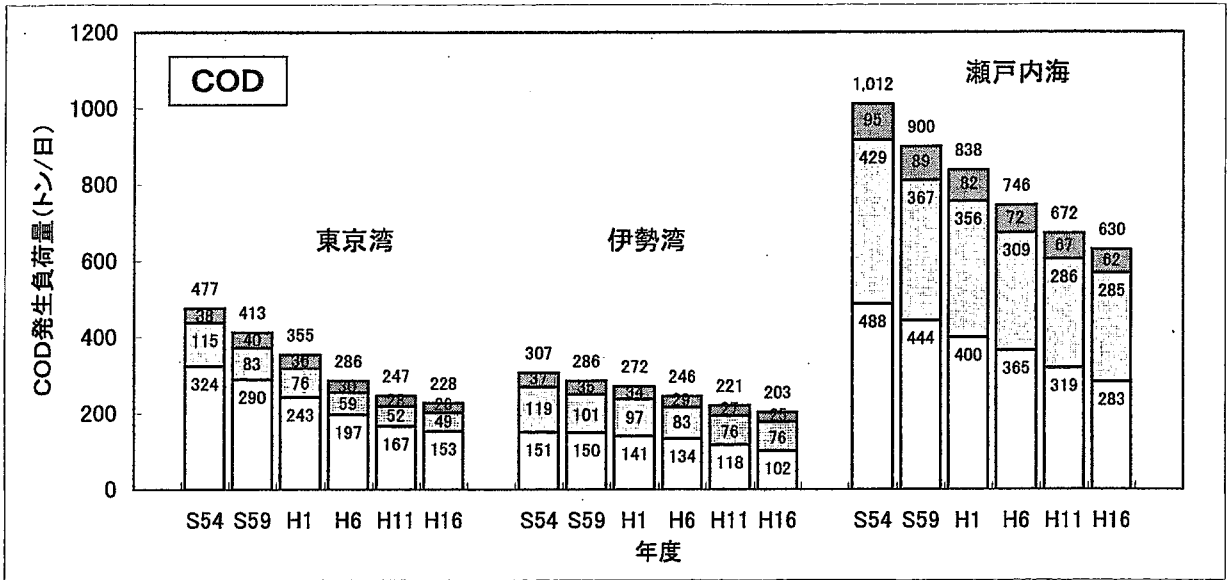
総量規制指定地域の概況（平成11年度）

	指定地域内 人口 (11年度末) (千人)	指定地域内 総面積 (11年度末) (k m ²)	指定地域内 製造品出荷額等 (11年度末) (億円)	指定地域内 事業場数 (11年度末) (事業場)	指定地域内 生活排水処理率 ※2) (11年度末) (%)
埼玉県	6,585	3,374	120,455	1,104	72
千葉県	3,422	1,895	71,634	861	69
東京都	11,962	1,763	184,942	264	97
神奈川県	4,309	553	97,505	210	96
東京湾	26,277	7,586	474,536	2,439	87
岐阜県	2,002	7,698	48,070	1,078	51
愛知県	6,998	4,760	330,502	2,370	64
三重県	1,517	3,734	67,572	831	44
伊勢湾	10,517	16,192	446,144	4,279	59
京都府	2,274	1,773	47,843	364	86
大阪府	8,848	1,893	181,207	1,223	81
兵庫県	5,295	6,178	148,134	1,290	79
奈良県	1,392	1,790	24,216	353	56
和歌山県	793	1,686	5,583	336	20
岡山県	1,945	7,111	63,320	989	51
広島県	2,757	5,837	65,432	856	62
山口県	1,403	4,478	45,966	533	55
徳島県	804	3,650	15,486	379	22
香川県	1,035	1,876	21,618	479	36
愛媛県	1,464	4,491	29,521	542	41
福岡県	1,132	1,066	32,302	139	85
大分県	1,110	4,839	26,463	350	38
瀬戸内海	30,251	46,668	707,091	7,833	67
三海域計	67,044	70,446	1,627,771	14,551	73
(参考) 全国値	総人口 (11年10月)	総面積 (11年10月)	製造品出荷額等 (11年末)	事業場数※1) (11年度末)	汚水処理率 (11年度末)
	126,686	377,864	3,058,400	36,461	69

※1) 事業場数の全国値は、日平均排水量50m³以上の事業場の数。

※2) 生活排水処理率とは、総人口に対する下水道、農業集落排水施設等、浄化槽、コミュニティ・プラントの各汚水処理施設の処理人口合計の比率をいう。(発生負荷量管理等調査結果による。)

発生負荷量の推移及び削減目標量



□生活系 ▨産業系 ■その他系

(注1) 点線の棒グラフは、関係都府県のデータの集計
(注2) 平成16年度の値は削減目標量とした

海域の生活環境保全に係る環境基準

ア

項目 類型	利用目的の 適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要 求量 (COD)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	n-ヘキサン抽出 物質(油分等)
A	水産1級 水浴 自然環境保全及び B以下の欄に掲げ るもの	7.8以上8.3以下	2mg/L以下	7.5mg/L以上	1,000MPN/100 mL以下	検出されないこ と。
B	水産2級 工業用水及びC の欄に掲げるもの	7.8以上8.3以下	3mg/L以下	5mg/L以上	—	検出されないこ と。
C	環境保全	7.0以上8.3以下	8mg/L以下	2mg/L以上	—	—

備考 水産1級のうち、生食用原料カキの養殖の利水点については、大腸菌群数70MPN/100mL以下とする。

- (注) 1 自然環境保全 : 自然探勝等の環境保全
 2 水産1級 : マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用
 水産2級 : ボラ、ノリ等の水産生物用
 3 環境保全 : 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

イ

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全 ^{りん} 磷
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの (水産2種及び3種を除く。)	0.2mg/L以下	0.02mg/L以下
II	水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げるもの(水産2 種及び3種を除く。)	0.3mg/L以下	0.03mg/L以下
III	水産2種及びIVの欄に掲げるもの(水産3 種を除く。)	0.6mg/L以下	0.05mg/L以下
IV	水産3種 工業用水 生物生息環境保全	1mg/L以下	0.09mg/L以下
測定方法		規格45.4に定める方法	規格46.3に定める方法

備考
 1 基準値は、年間平均値とする。
 2 水域類型の指定は、海洋植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある海域について行うものとする。

- (注) 1 自然環境保全 : 自然探勝等の環境保全
 2 水産1種 : 底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ、安定して漁獲される
 水産2種 : 一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される
 水産3種 : 汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される
 3 生物生息環境保全 : 年間を通して底生生物が生息できる限度

平成14年度環境基準達成状況

平成14年度類型別環境基準達成率(COD)

		A	B	C	合計
東京湾	指定水域数	2	8	9	19
	達成水域数	1	3	9	13
	達成率(%)	50.0	37.5	100.0	68.4
伊勢湾	指定水域数	4	6	6	16
	達成水域数	0	1	6	7
	達成率(%)	0.0	16.7	100.0	43.8
大阪湾	指定水域数	3	2	7	12
	達成水域数	0	1	7	8
	達成率(%)	0.0	50.0	100.0	66.7
瀬戸内海 全体	指定水域数	54	58	50	162
	達成水域数	17	45	50	112
	達成率(%)	31.5	77.6	100.0	69.1

平成14年度類型別環境基準達成率(T-N・T-P)

		I	II	III	IV	合計
東京湾	指定水域数	—	1	1	4	6
	達成水域数	—	0	0	3	3
	達成率(%)	—	0.0	0.0	75.0	50.0
伊勢湾	指定水域数	—	2	2	3	7
	達成水域数	—	0	1	3	4
	達成率(%)	—	0.0	50.0	100.0	57.1
大阪湾	指定水域数	—	1	1	1	3
	達成水域数	—	0	1	1	2
	達成率(%)	—	0.0	100.0	100.0	66.7
瀬戸内海 全体	指定水域数	1	42	13	4	60
	達成水域数	1	38	13	3	55
	達成率(%)	100.0	90.5	100.0	75.0	91.7